

2026
5.31
10:00-16:00
SUN

事前申込制

大六先生が語る心理検査研修会

新指標の意義 WISC-V オンライン研修会

呼称速度・リテラシー

呼称速度・数量

即時シンボル変換

遅延シンボル変換

再認シンボル変換

世界で最も広く活用されている知能検査の一つである WISC-V は、知的能力の個人内差（得意・不得意）を詳細に把握できるため、学習に困難を抱える子どもたちの支援に役立てられてきました。しかし、従来の指標だけでは、読み書きの困難さや発達性読み書き障害の背景要因までを十分に深掘りすることは困難でした。

今年発売予定の関連指標によって、それらの原因メカニズムの一端に迫ることが可能となります。本講演では、新指標の開発にも携わられた大六一志先生をお招きし、これらの理論的背景、導入の経緯と意義、そして臨床現場でどのように活用していくべきかについて解説いただきます。

講師

大六一志 先生
知能発達検査室 顧問



日本臨床発達心理学会茨城支部支部長、放送大学客員教授、博士（心理学）。公認心理師。臨床心理士。臨床発達心理士。特別支援教育士スーパーバイザー。WISC-IV、WISC-V、WAIS-III、WAIS-IV、WPPSI-III の日本版刊行委員を務める。健診委員、巡回相談員、特別支援教育アドバイザー、顧問等。著書・論文多数。

対象

医療、障害福祉、教育機関等で
心理検査に携わる専門職・学生の方

医師、公認心理師、臨床心理士、臨床発達心理士、特別支援教育士、精神保健福祉士、社会福祉士、言語聴覚士、心理カウンセラーなどの専門職。また、それらの養成課程の学生。

参加費

一般の方 8,800 円(税込)

学生の方 4,400 円(税込)

お申し込みは
こちらから

ウェビナー公式サイト

<https://psychological-test.jp/event/202605/>

